

まちづくりに関する調査結果

市政モニターの皆さまを対象に2018年11月に「まちづくりに関する実態把握」についてご意見をお聞きしました。
ご回答して頂いたモニターの皆さまには、厚くお礼申し上げます。

■有効回答率：89.4%（有効回答者数：388人）

■有効回答者の構成割合について

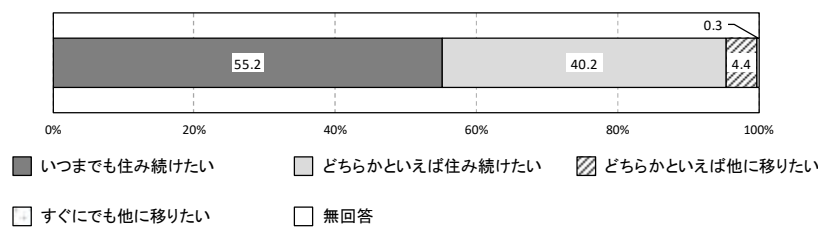
男性：40.5%、女性：59.5%

10歳代：0.8%、20歳代：7.2%、30歳代：16.0%、40歳代：21.1%、50歳代：18.6%、60歳代：18.3%、70歳代：12.1%、80歳以上：5.9%

【定住意向について】

問 これからも西宮市に住み続けたいと思いますか。

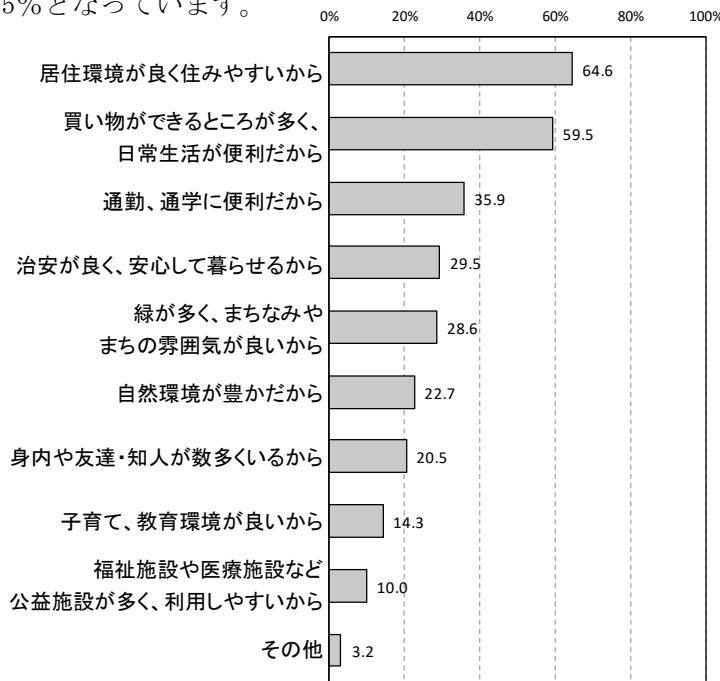
西宮市に「いつまでも住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人は、合わせて95.4%となっています。



問 これからも西宮市に住み続けたいと思う理由は何ですか。

（3つまで選択可）

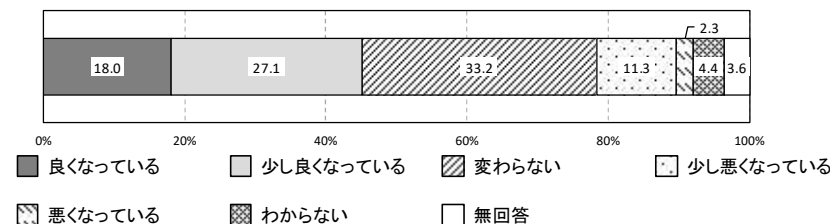
西宮市に「いつまでも住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人に尋ねたところ、最も多い回答は「居住環境が良く住みやすいから」で64.6%となっており、次いで「買い物ができる場所が多く、日常生活が便利だから」で59.5%となっています。



【暮らしやすさなどまちの評価について】

問 以前と比べてお住まい周辺の状況（環境やまちなみ）は変化しましたか。

以前と比べて、「良くなっている」、「少し良くなっている」と回答した人は、合わせて45.1%となっています。

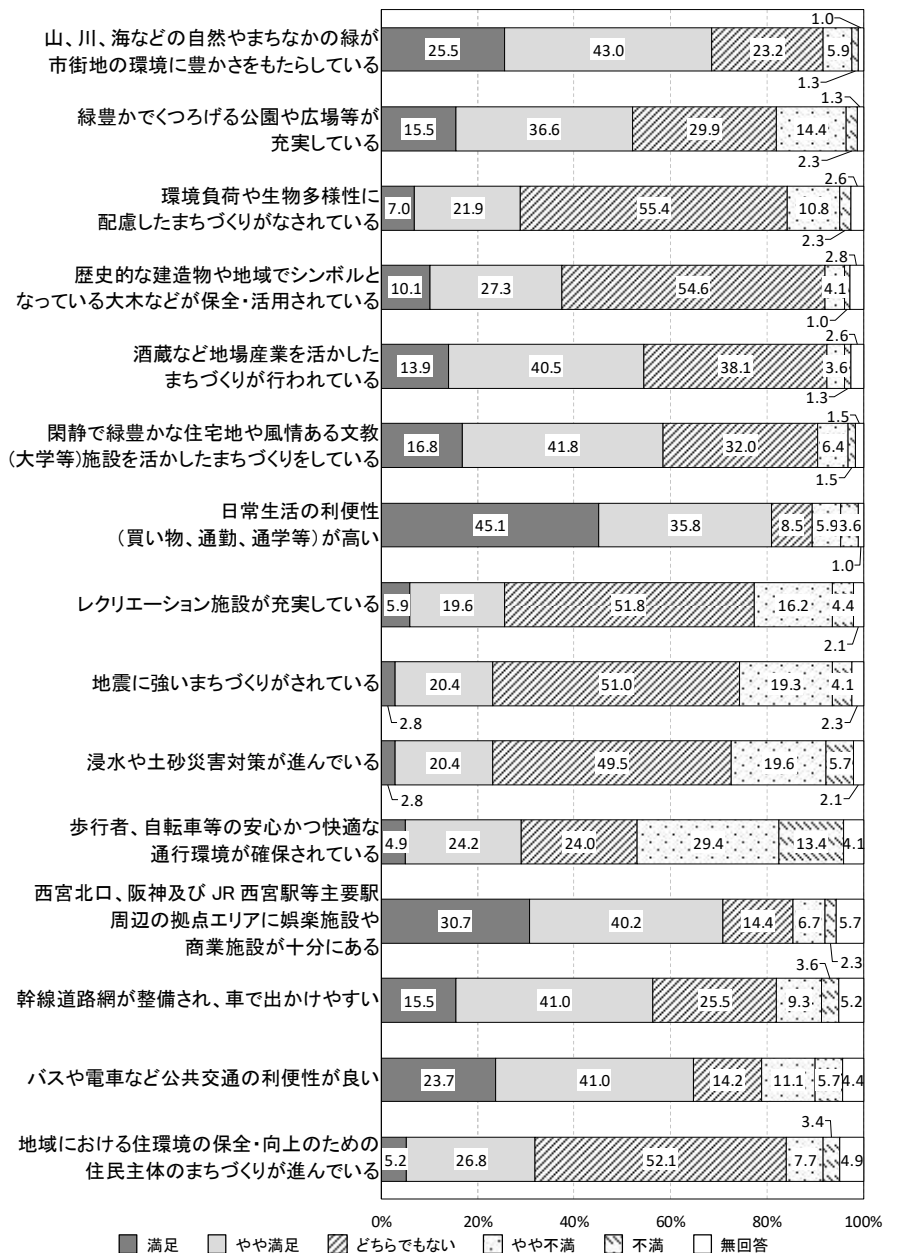


問 お住まい周辺について、次の各項目にどの程度満足していますか。また、各項目をどの程度重要視していますか。

満足度について「満足」と「やや満足」を合わせた割合が最も高い回答は、「日常生活の利便性（買い物、通勤、通学等）が高い」で80.9%となっており、次いで「西宮北口、阪神及びJR西宮駅等主要駅周辺の拠点エリアに娯楽施設や商業施設が十分にある」で70.9%となっています。

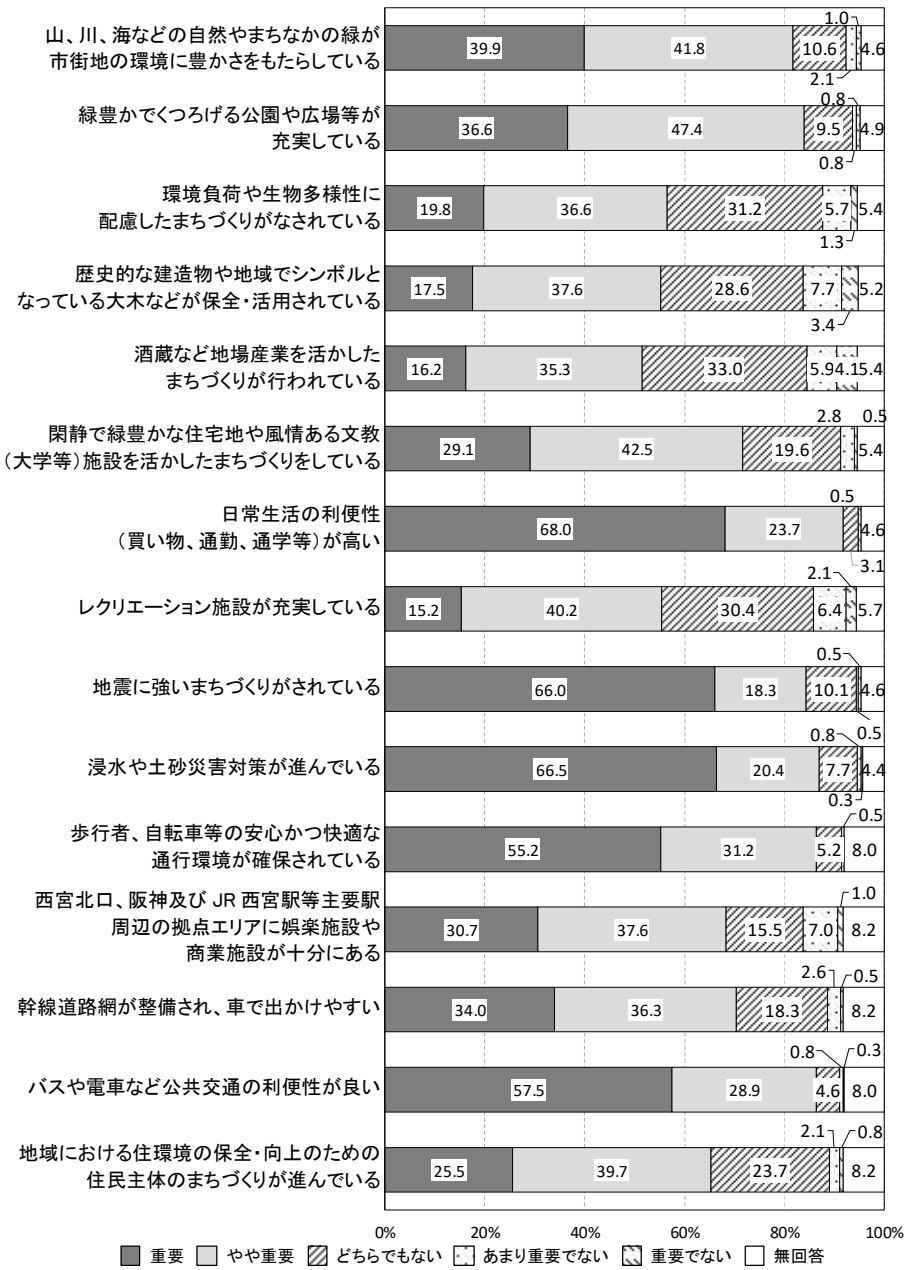
重要度について「重要」と「やや重要」を合わせた割合が最も高い回答は、「日常生活の利便性（買い物、通勤、通学等）が高い」で91.7%となっており、次いで「浸水や土砂災害対策が進んでいる」で86.9%となっています。

【満足度】



各選択肢の構成比（%）は小数点第2位以下を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。また、「2つまで選択可」及び「3つまで選択可」と表記された設問は選択肢の構成比（%）の合計が100%を超える場合があります。

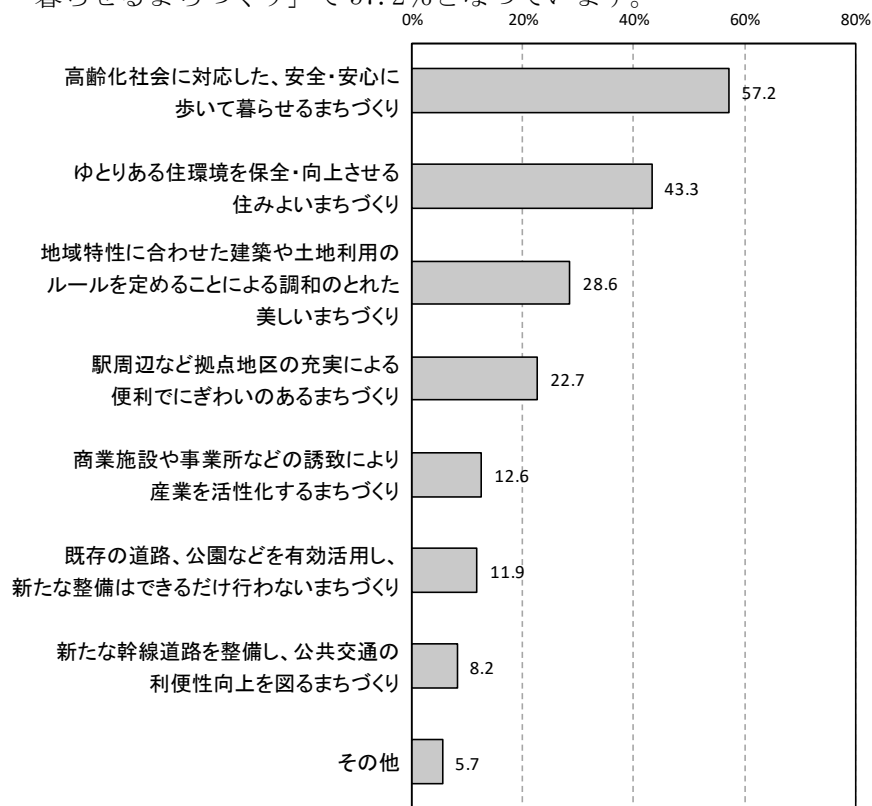
【重要度】



【まちづくりで重視すべきことについて】

問 本市の人口は今後、減少することが予測されています。このような背景のなかで、今後、どのようなまちづくりを進めるべきだと考えますか。(2つまで選択可)

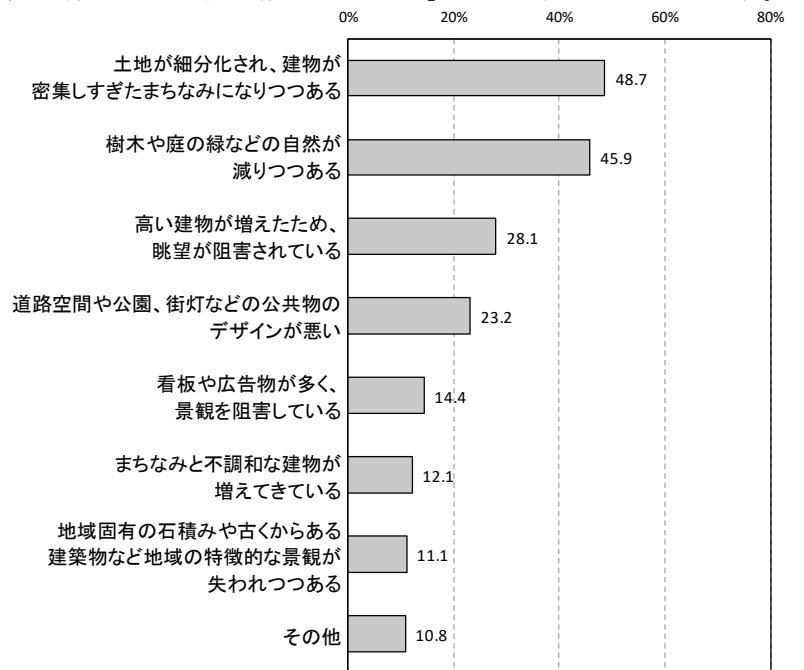
最も多い回答は「高齢化社会に対応した、安全・安心に歩いて暮らせるまちづくり」で57.2%となっています。



【景観について】

問 お住まい周辺の景観について、どのようなことが課題だと感じますか。(3つまで選択可)

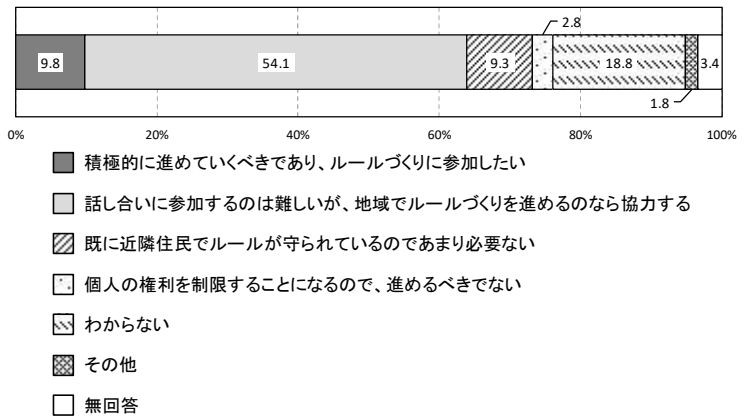
最も多い回答は、「土地が細分化され、建物が密集しすぎたまちなみになりつつある」で48.7%となっており、次いで「樹木や庭の緑などの自然が減りつつある」で45.9%となっています。



【地域のまちづくりについて】

問 まちづくりを進めるにあたっては、地域の皆さんの話し合いにより、建物の用途や高さ、色彩、緑化などについてルールを決めていく制度があります。このようなルールづくりについてどのように思われますか。

最も多い回答は「話し合いに参加するのは難しいが、地域でルールづくりを進めるのなら協力する」で54.1%となっています。



問 住環境を守るルールとしてどのようなことが必要だと思いますか。(2つまで選択可)

最も多い回答は「地域にそぐわない用途の建物(ホテルや工場等)を規制する」で54.4%となっており、次いで「住宅の密集を防ぐため敷地の細分化を防止する」で26.8%となっています。

